

授業科目名	解剖学 I		授業形態	講義	配当学期	1年（前期）
担当教員名	水谷 貴佐、中村 麻美、井東 優貴		単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>身体を構成するさまざまな臓器は互いに影響を及ぼしながら協調して機能を営んでいる。各器官においても、その形態や内部構造は機能を発揮するために意味をもっている。身体を構成する諸器官を9器官系に分け、それぞれの形態と機能について臨床と関連付けて学ぶ。解剖学 I では基本構造から学び、運動器系へと進む。理学療法士にとって特に重要な器官である運動器は筋、骨、神経に分けて名称と存在場所、構造（かたち）と機能（はたらき）について学ぶ。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>運動器を構成する骨・関節、筋などの構造と機能、存在場所、多臓器との関連が説明でき、運動学や臨床医学の知識と関連付けて理解できる。</p>					
授業回数	授業内容					
第 1 回	解剖学総論					〔伊東〕
第 2 回	人体の構成 細胞・組織・器管					〔伊東〕
第 3 回	人体の発生					〔中村麻〕
第 4 回	骨格総論					〔中村麻〕
第 5 回	関節と靭帯					〔中村麻〕
第 6 回	筋系総論・各論① 上肢					〔伊東〕
第 7 回	筋系総論・各論② 上肢・下肢					〔伊東〕
第 8 回	筋系総論・各論③ 下肢					〔伊東〕
第 9 回	神経系①ニューロン、グリアの構造と機能					〔水谷〕
第 10 回	神経系②末梢神経・中枢神経					〔水谷〕
第 11 回	神経系③脳神経					〔水谷〕
第 12 回	神経系④神経伝導路 反射路、感覚路					〔水谷〕
第 13 回	神経系⑤神経伝導路 運動路					〔水谷〕
第 14 回	感覚系① 皮膚・視覚器					〔中村麻〕
第 15 回	感覚系② 平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器					〔中村麻〕
評価方法	講義した範囲と内容について、期末試験にて評価を行う。（100%）					
教科書 参考図書	<p>〔教科書〕 標準理学療法学・作業療法学 専門分野 解剖学 第5版 監訳：奈良勲 鎌倉矩子 出版：医学書院</p>					
履修上の 留意点	医学の勉強の基礎となる科目です。授業で理解できない箇所があれば、積極的に担当教員に質問しに来てください。					
メッセージ						